

令和2年度暴風雪・豪雪被害および営農活動に対する JAの各種支援活動をお知らせいたします

JA秋田なまはげでは、災害復旧や地域農業の担い手の営農継続、新規作付けや生産拡大等に対して支援活動を行っています。令和2年度に実施した、または現在行っている支援活動の内容と実績をお知らせいたします。

購買事業

- 暴風雪・大雪にかかる被害を受けた方への復旧支援として、条件を満たした方の農業生産施設等に対して資材供給金額(税抜)の4分の1以内を助成し、令和3年8月にお支払いを予定しています。

対象予定者数 149名 / 助成予定総額 15,255千円

営農指導・販売事業

- 暴風雪・大雪被害に関する緊急要請書を管内の秋田市、男鹿市、潟上市へ提出し、迅速な復旧支援への協力を仰ぎました。
- 管内の主力品目の花き(菊、ダリア)の産地PRを目的に、秋田市長、男鹿市長、潟上市長と組合長のメッセージ入りPR映像を制作し、取引先の4市場(札幌花き、仙台生花、大田花き、梅田生花)で、PR映像の放映と同時に菊とダリアの展示によるPR活動を実施しました。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大によって影響を受けた農家を支援する事業の、申請サポートを実施しています。

経営継続補助金 申請者160名(採択者129名)
高収益作物次期作支援交付金 申請者67名(全員交付対象)

- 園芸品目の生産拡大や周年園芸ハウスの導入への助成として、重点品目をはじめとする園芸品目への新規取り組みや面積拡大分に関わる種子や苗、資材費に対して、JAの独自助成を行っています。

令和2年度実績 29件 862千円

- 園芸品目の周年栽培に向けて導入する園芸ハウスに対して、JAの独自助成を実施しています。

令和2年度実績 9件 1,135千円

担い手および担い手経営体への支援

- 法人設立説明会や検討会に参加する他、法人設立の説明資料、定款案や事業目論見書案、収支計画の作成等、法人の設立に向けた支援活動を実施しています(7法人)。
- 共同施設の建設に向けて事業計画や資金計画等の作成支援を行っています。
- 担い手経営体の資金借入れに係る収支計画の作成等を支援しています。

信用事業

- 暴風雪・大雪被害によって農産物の生産や農業経営の維持に支障をきたしている農業者に、アグリマイティー資金(災害緊急)および農業漁業経営フォローアップ資金を利用して必要な資金の融通を行うことに際して、JAグループ秋田の利子補給による借入全期間の実質無利子化と保証料の全額助成により、被災農業者の実質負担をゼロとする取り組みを実施しています(令和4年3月31日まで)。
- 担い手金融リーダーを中心に「経営継続補助金」の採択先へつなぎ資金、補助残融資の提案を行い、感染防止対策を行いつつ農家組合員の経営継続に向けた取り組みを支援しています。

今年度も、営農活動の復旧や拡大を行う農業者に対する支援を継続していきます。
各種助成には条件等がございますので、まずはJAまでお尋ねください。